

## 昭和62年度日本気象学会総会議事録

日時 昭和62年5月27日(水) 13時00分～14時00分

場所 茨城県新治郡桜村天王台1-1-1

筑波大学学生会館

## 総会次第

1. 開会の辞
2. 議長選出
3. 理事長挨拶
4. 各賞受賞者選定経過報告
5. 学会賞授与
6. 藤原賞授与
7. 昭和61年度事業報告
8. 昭和61年度会計決算報告
9. 昭和61年度監査報告
10. 昭和62年度事業計界案, 予算案審議
11. 開会の辞

## 出席者数

出席者 179名

委任状 754名

計 933名

## 1. 開会

中村理事から定款第38条による総会成立に必要な出席者数709名(通常会員現在数3,544名の5分の1), うち委任状によらない出席者142名(通常会員の25分の1)が満たされているので総会は成立するとして, 開会が告げられた。

## 2. 議長選出

中村理事が議長選出は出席会員の互選によるが慣例にしたがい大会委員長の吉野正敏会員を推薦したいと諮ったところ, 満場一致で承認され, 同会員が議長に選出された。

## 3. 議長挨拶

吉野議長から, ご指名により議長をつとめさせていただき, ご協力をお願いする旨の挨拶があった。

## 4. 理事長挨拶

山元理事長から概要次のような挨拶があった。

(1) 本大会の開催に当っては吉野大会委員長(筑波大学)をはじめとする筑波大学の会員の皆様方の並々ならぬ努力に対して感謝する。

(2) 各理事, 各会員の学会への尽力, 協力により学会の会務は順調に発展しており, 会員数も約4,200

名と昨年に比較してわずかではあるが増加していることは会員の協力によるものと感謝する。

(3) 会計も会費その他の収入が順調に進んでいる。年度末には学会賞, 藤原賞および山本賞の基金を増額することができた。

(4) 国際学術交流基金も500万円に達した。このうちには百数十名の会員から100万円近い寄附があった。今後は関係団体へ基金の働きかけも考えており, より一層の基金の充実をはかってゆきたい。

(5) 本年3月中旬に堀内剛二会員から大気科学の研究奨励のために約500万円(有価証券)の寄附があった。

学会としてはその果実により, 賞を設定するために総計画担当理事を中心に関係理事による原案作成委員会を設けて検討を進めており, 原案を作成して秋委大会に臨時総会を開き提案したいと考えているので, その際はよろしく審議願いたい。

(6) 学術用語集気象学編(増訂版)(昭和62年3月25日付発行)が5月中旬に発売となった。

(7) 「気象研究ノート」の刊行が一時停滞していたが, 担当理事はじめ編集委員の努力により順調に刊行されるようになった。「天気」も担当理事らの努力により新しい内容を盛り込むことになった。また, 昨年8月に気象庁において開催された短期・中期数値予報国際シンポジウム(WMO/IUGG主催)のプロシーディングスを気象集誌特別号として刊行するための作業が進められており, 近く発行の運びとなる予定である。

(8) 国際的な気象界の動向としては, 中層大気観測計画いわゆるMAPが成功裡に終了し, 今年度からWCRP(気候変動国際協同研究計画)が組織的に推進されることになった。

(9) 学会の国際的活動としては

ア. 本年4月10日～15日に中国の成都で開催された「東アジアの大循環に関する国際会議」日中協力国際交流事業として中国気象学会および中国科学院と共催した。この会議には気象研究所2名, 各大学5名計7名の会員が出席した。

イ. 昭和63年2月インドのニューデリーで開催され

る「熱帯域における微気象と大気汚染に関する国際シンポジウム」(インド気象学会主催)を後援する。

ウ. 国際学術交流活動としては引き続き国際研究会参加旅費の補助を行ってゆく。

(10) 国際気象学・大気物理学協会 (IAMAP) 第6回総会 (1993年8月) の日本への招致については、学会としては全力をあげて招致に努力することにしたいので会員の協力をお願いしたい。

(11) 今回の春季大会において、はじめてポスターセッションの試行を行って好評を得た。改善すべき点についてはこれを改善し、北海道の秋季大会においてもポスターセッションを行うことにしている。

(12) 学会刊行物に著作権を設定した。「気象集誌」は第65巻1号から投稿および編集規定のなかに著作権を明記した。「大会予稿集」は62年秋季大会から明記する。「天気」および「気象研究ノート」については文案を検討中である。

5. 各賞受賞者選定経過報告

(1) 日本気象学会賞の受賞者選定の経過及びその理由について松野担当理事から報告があった。

(2) 藤原賞の受賞者選定の経過及びその理由について広田担当理事から報告があった。

6. 日本気象学会賞の授与

山元理事長から次の会員に賞状、賞牌、賞金が授与された。

・秋山孝子会員 (気象研究所)  
「梅雨前線上の中間規模低気圧にともなう降水系の研究」

・山形俊男会員 (九州大学応用力学研究所)  
「赤道域における大気・海洋結合系の力学に関する研究」

7. 藤原賞の授与

山元理事長から次の会員に賞状、賞牌、賞金が授与された。

・川口貞男会員 (国立極地研究所)  
「南極観測事業を通して我が国の極地気象学を振興させた功績」

8. 昭和61年度事業報告

中村庶務担当理事から概要次のとおり報告があった。

(1) 会員数の動向

昭和62年2月1日現在会員数 4,232 (64名増)

国内一般	A 2,357	国内団体	A 322
	B 1,014		B 184
学 生	A 89	賛助会員	45
	B 84		
外国個人	A 58	外国団体	A 49
	B 26		B 4

(2) 機関誌等の刊行

ア. 天 気	33巻4号~34巻3号	12冊 751頁
	(94頁増)	
	各号約 4,300(4,230~4,350)	部印刷
イ. 気象集誌	63巻2号~64巻1号	6冊1002頁
	(198頁減)	
	各号 1,900部印刷	
ウ. 気象研究ノート	153号「気象教育特集」	91頁
		1,800部印刷
	154号「雷特集」	86頁
		1,900部印刷
	155号「惑星大気」	206頁
		1,800部印刷

(3) 会 議

ア. 総会

昭和61年5月22日 気象庁  
出席者: 186名, 委任状: 656名, 計: 842名  
昭和60年度事業報告・決算, 昭和61年度事業計画  
・予算等が承認された。名誉会員の推薦を議決した。

イ. 理事会	第23期 第5回
	第23・24期 合同1回
	第24期 第2回
ウ. 常任理事会	第23期 第18回~第19回 計2回
	第24期 第1回~第6回 計6回
エ. 評議員会	第24期 第1回

(4) 講演会および研究会

ア. 春季大会	昭和61年5月21日~23日
	東京: 気象庁
	(担当: 東京地区大学)
イ. 秋季大会	昭和61年11月5日~7日 名古屋:
	愛知厚生年金会館
	(担当: 中部支部)
	ポスター・セッションについてのアンケート調査を行った。

ウ. 研究会

(ア) 南極圏の気象 (第5回) 昭和61年5月20日

- (イ) 梅雨に関する研究会 昭和61年5月20日 昭和61年10月24日  
 (ウ) 南極圏の気象(第6回) 昭和61年11月4日
- エ. 月例会等  
 (ア) 第30回山の気象シンポジウム 昭和61年6月21日  
 (イ) 長期予報と大気大循環 昭和62年2月23日  
 (ウ) 大気境界層についてのワークショップ 昭和62年3月16日～17日
- オ. 他学会との共催等  
 (ア) 第23回理工学における同位元素研究発表会 昭和61年7月1日～3日  
 (イ) 第4回エアロゾル科学・技術研究討論会 昭和61年8月21日～22日  
 (ウ) 第9回風工学シンポジウム 昭和61年12月4日～5日  
 (エ) 第33回風に関するシンポジウム 昭和62年2月4日
- (5) 研究業績の表彰および研究の奨励
- ア. 研究業績の表彰  
 (ア) 日本気象学会賞  
     村上勝人会員  
     安成哲三会員  
 (イ) 藤原賞  
     村上多喜雄会員  
 (ウ) 山本賞  
     篤野泰弘会員
- イ. 奨励金受領者  
     大奈 健会員  
     江上 公会員  
     半田 孝会員  
     瀧島幸市会員
- (6) 支部活動
- ア. 北海道支部  
 (ア) 昭和61年度第1回支部研究発表会(北大理学部) 昭和61年6月9日  
 (イ) 昭和61年度第2回支部研究発表会(札幌管区) 昭和61年11月29日  
 (ウ) 北海道支部地方講演会(千歳市市民文化センター) 昭和61年10月18日
- イ. 東北支部  
 (ア) 昭和61年度東北支部地方講演会(秋田県宿泊所) 昭和61年9月27日  
 (イ) 昭和61年度東北支部講演会(仙台第3合同
- ウ. 中部支部  
 昭和61年度秋季大会(名古屋)  
 昭和61年11月5日～7日
- エ. 関西支部  
 (ア) 関西支部年会(大阪) 昭和61年5月29日  
 (イ) 例会「中小規模現象」(京都) 昭和61年10月23日  
 (ウ) 例会「局地気象」(高松) 昭和61年12月12日  
 (エ) 例会「海洋と気象」(神戸) 昭和62年1月30日  
 (オ) 例会「産業と気象」(大阪) 昭和62年3月16日
- オ. 九州支部  
 昭和61年度九州支部研究会(福岡管区)  
 昭和62年2月6日
- カ. 沖縄支部  
 沖縄管内気象研究会(八重山職員会館)  
 昭和62年1月28日～29日
- (7) 普及活動
- ア. 第20回夏季大学「雨と災害」  
 昭和61年7月28日～31日 気象庁
- イ. 関西支部第8回夏季大学「気候とその変化—古気候から21世紀の予測まで—」  
 昭和61年7月28日～30日  
 大阪府立労働センター
- ウ. 北海道支部第4回夏季大学「冬の気象」  
 昭和61年7月31日～8月1日  
 札幌市青少年科学館
- (8) 国際学術交流
- ア. 国際学術交流事業  
 (ア) 「インド・モンスーンの長期予報100年記念国際セミナー」後援  
     昭和61年4月16日～18日 インド気象学会主催  
     安成哲三, 栗原弘一の2会員をキーノート・スピーカーとして派遣  
 (イ) 「短期・中期数値予報国際シンポジウム」後援.  
     昭和61年8月4日～8日 気象庁.  
     WMO(気象庁)/IUGG主催 プロシーディングスを気象集誌特別号として発行するため, 編集委員会を組織, 作業中である.

また、募金も行った。

イ. 国際学術研究会参加補助

中沢哲夫会員「モンスーンとメソ気象学国際会議」

早坂忠宏会員「北京国際放射シンポジウム」

ウ. 会員有志からの募金により基金の充実に努めた。

(9) 学術用語集

気象学編増訂版の校正を行った。近く刊行の予定。

(10) 名誉会員の選出

次の3会員が名誉会員に選ばれた。

吉武素二会員

高橋浩一郎会員

磯野謙治会員

(11) 役員選挙

昭和61年7月4日開票が行われ、第24期の新役員が決まった。

(12) 日本学術会議会員

日本学術会議会員選出法の変更に伴い、日本気象学会における会員の候補者及び推薦人の指名方法を定めた。

(13) 著作権

気象集誌に著作権を認定、65巻1号から著作権を明記していくことになった。他の機関誌についても各委員会でも検討中である。

(14) 事務局

ア. 在庫の処分

大正時代からたまっていた機関誌その他の在庫を処分・整理し、台帳を作成した。

イ. 事務機械化

パソコン用データ作成のための基礎資料を会員の協力により収集した。

ウ.ゼロックスコピーのサービスを開始。

9. 昭和61年度会計決算報告

土屋会計担当理事から資料にもとづき収支計算書、正味財産増減計算書、損益計算書(収益部門)、貸借対照表、財産目録について報告があった。

10. 昭和61年度監査報告

相原監事が昭和62年4月20日監査を実施した結果について、資料にもとづき報告があった。

議長が事業報告、会計決算報告、監査報告の3件につき承認を求めたところ多数により承認された。

11. 昭和62年度事業計画(案)の審議

中村庶務担当理事から概要次のとおり説明があった。

(1) 機関誌等の刊行

ア. 天 気 34巻4号～35巻3号12冊 816頁(65頁増)

イ. 気象集誌 65巻2号～66巻1号6冊 1,184頁(182頁増)

ウ. 気象研究ノート 156号～159号

エ. 気象集誌特別号(短期・中期数値予報国際シンポジウムのプロシーディングス)

論文数67編、約700頁の予定

天気は紙面を充実する。

気象集誌の英文校正を65巻3号で試行後、実施を検討する。

(2) 講演会および研究会

ア. 春季大会 昭和62年5月26日～28日

筑波:筑波大学学生会館

(担当:筑波大学)

ポスター・セッションを試行する。

イ. 秋季大会 昭和62年10月14日～16日

札幌:北海道大学国際交流会館

(担当:北海道支部)

ウ. 研究会 南極圏の気象、モデル気象学等

エ. 月例会等 例年通り

オ. 他学会との共催等 例年通り

他に「第3回水資源に関するシンポジウム」

昭和62年8月4日～5日

(3) 普及活動

ア. 第21回夏季大学「雲と大気の状態」

昭和62年8月3日～6日 気象庁

イ. 関西支部第9回夏季大学「新しい天気予報」

昭和62年7月28日～30日

大阪府立労働センター

ウ. 北海道支部第5回夏季大学

昭和62年7月29日～30日

札幌市青少年科学館

(4) 国際学術交流

ア. 「東アジアの大気循環に関する国際会議」

昭和62年4月10日～15日 成都

日中協力国際交流事業として中国気象学会および中国科学院と共催した。

新田勲、村上勝人、加藤内蔵進の3会員を援助。



# 収 支 計 算 書

(昭和61年4月1日から昭和62年3月31日まで)

社団法人 日 本 気 象 学 会

## I 収入の部

勘 大 科 目	定 科 目		目 科 目		予 算 額 円	決 算 額 円	内 収 入		差 異 円	備 考
	中 科 目	小 科 目	公 益 部 門 円	収 益 部 門 円						
1.基本財産運用収入					1000000	1033215	1033215		33215	
	基本財産利息収入		預 金 利 息 収 入		900000	874532	874532		△ 25468	
	基本財産配当金収入		公 社 債 信 託 配 当 金 収 入		100000	158683	158683		58683	
2.会費・入会金					35296960	3337442	3337442		△1959518	
	通常委員会費・入会金収入		個人委員会費・入会金収入		26073290	2426064	2426064		△2047226	
	団体会員会費収入		団 体 会 員 会 費 収 入		4946260	4906450	4906450		△ 39810	
	外国人会員会費・入会金収入		外 国 人 会 員 会 費 収 入		754550	818485	818485		63935	
			外国団体会員会費収入		692860	726843	726843		33983	
	賛助会員会費収入		賛 助 会 員 会 費 収 入		2830000	2859600	2859600		29600	
3.事業収入					15050660	14899569	4752192	10147377	△ 151091	
	気象研究ノート刊行収入		気 象 研 究 ノ ー ト 刊 行 収 入		7299560	7940185		7940185	640625	未収金1,945,824 円を含ま。
	予稿集刊行収入		予 稿 集 刊 行 収 入		3920000	3566800	3566800		△ 353200	
	その他の収入		そ の 他 の 収 入		3831100	3392584	1185392	2207192	△ 438516	ペーパーズ 書店扱、その他
4.補助金収入					3710000	3710000	3710000		0	
	文部省補助金収入		科 学 研 究 費 収 入		3710000	3710000	3710000		0	
5.寄付金収入					0	10253000	10253000		10253000	
	寄付金収入		寄 付 金 収 入		0	9500000	9500000		9500000	期內基金援助費 (板橋、及び東京 特別号発行費用の分)
	募 金 収 入		募 金 収 入		0	753000	753000		753000	
6.雑収入					12429440	10922383	5260277	5662106	△1507057	
	雑 収 入		雑 収 入		12429440	10922383	5260277	5662106	△1507057	投種料、別冊代、 広告料、その他
7.特定預金取崩収入					1000000	1000000	1000000		0	
	総会費用引当預金取崩収入		総 会 費 用 引 当 預 金 取 崩 収 入		1000000	1000000	1000000		0	
	退職給与引当預金取崩収入		退 職 給 与 引 当 預 金 取 崩 収 入		0	0	0		0	
8.その他収入										
	期 末 棚 卸 高 期 末 棚 卸 高		期 末 棚 卸 高			1158129		1158129		
	公 社 債 信 託 取 崩 収 入		公 社 債 信 託 取 崩 収 入		21200000	21200000	21200000			
前期繰越収支差額										
	前 期 繰 越 収 支 差 額		前 期 繰 越 収 支 差 額		68487060	734047	734047	81280173	16967612	
収 入 合 計 (A)					88247785	81280173	16967612			

II 支出の部

大科目	定科			科目		予算額円	決算額円	内		訳	差異円	備考
	中	科	目	小	科			目	公益部門円			
1.事業費	図書購入費	図書購入費	図書購入費			47885570	50470006	38653095	11816911		2584436	
	臨時賃金	臨時賃金	臨時賃金			391560	303000	2000	301000		△ 88560	
	会議費	会議費	会議費			288000	497540	382220	115320		209540	
	旅費	旅費	旅費			2050000	1138000	874220	263780		△ 912000	
	通信搬送費	通信搬送費	通信搬送費			188800	187800	144270	43530		△ 1000	
	編集費	編集費	編集費			4878910	4650438	2963989	1686449		△ 228472	
	印刷製本費	印刷製本費	印刷製本費			4681100	4309857	3449457	860400		△ 371243	
	負担金	負担金	負担金			34416850	33936071	25436439	8499632		△ 480,779	
	雑費	雑費	雑費			79900	91500	55500	36000		11600	
	学会賞金支出	学会賞金支出	学会賞金支出			300450	275800	265000	10800		△ 24650	
	藤原賞金支出	藤原賞金支出	藤原賞金支出			200000	100000	100000	0		△ 100000	
	山本賞金支出	山本賞金支出	山本賞金支出			100000	100000	100000	0		0	
	奨励金支出	奨励金支出	奨励金支出			210000	280000	280000	0		70000	
	気象集誌特別号刊行費用引当準備金	気象集誌特別号刊行費用引当準備金	気象集誌特別号刊行費用引当準備金			0	4500000	4500000	0		4500000	
2.管理費						(16185120)	14508388	10885078	3623310		△1047732	
	給料手当	給料手当	給料手当			5873030	5579991	4185001	1394990		△ 293039	
	退職給与引当金繰入額	退職給与引当金繰入額	退職給与引当金繰入額			300000	400000	400000	0		100000	
	退職金	退職金	退職金			0	0	0	0		0	
	福利厚生費	福利厚生費	福利厚生費			400130	467316	467316	0		67186	
	会議費	会議費	会議費			1,150,450	919,610	689,710	229,900		△ 230,840	
	旅費	旅費	旅費			380250	216390	162292	54098		△ 163,860	

勘大科目	定科目		科目		予算額 円	決算額 円	内 訳		差 異 円	備 考
	中	小	目	目			公益部門 円	収益部門 円		
	通信搬送費	通信搬送費	搬送費	搬送費	1650350	1335220	1001415	333805	△ 315130	
	什器備品費	什器備品費	備品費	備品費	(150000)	(121700)	(121700)	(8730)	22044	
	消耗品費	消耗品費	消耗品費	消耗品費	299620	280400	165200	115200	△ 19220	
	印刷製本費	印刷製本費	製本費	製本費	569650	538745	284375	254370	△ 30905	
	光熱水料	光熱水料	水料	水料	229640	158688	79348	79340	△ 70952	
	賃貨料	賃貨料	賃料	賃料	400000	350061	262546	87515	△ 49939	
	公租公課費	公租公課費	公租費	公租費	400000	383520	4900	378620	△ 16480	
	雑支部交入金	雑支部交入金	雑支部交入金	雑支部交入金	900000	564315	423522	140793	△ 335685	
	支部交入金	支部交入金	支部交入金	支部交入金	2520000	2511500	2055139	456361	△ 8500	
	諸謝金	諸謝金	謝金	謝金	100000	97588	8000	89588	△ 2412	
	総会費用引当準備金	総会費用引当準備金	総会費用引当準備金	総会費用引当準備金	0	300000	300000	0	300000	
	事務機械引当準備金	事務機械引当準備金	事務機械引当準備金	事務機械引当準備金	(150000)	(121780)	(121780)	0	0	750,000円は什器備品費及び同購入支出に振替
3. 国際学術交流費	国際学術交流費	国際学術交流費	国際学術交流費	国際学術交流費	(1866880)	(2475000)	(2475000)	0	△ 2000000	2,000,000円は、同基金に繰入れ
4. 予備費	予備費	予備費	予備費	予備費	(1300000)	0	0	0	△ 625000	注2参照
5. 繰入金支出	基本財産繰入金	基本財産繰入金	基本財産繰入金	基本財産繰入金		6600000	6600000			
	国際学術交流基金繰入金	国際学術交流基金繰入金	国際学術交流基金繰入金	国際学術交流基金繰入金		2000000	2000000			
6. その他支出	什器備品購入支出	什器備品購入支出	什器備品購入支出	什器備品購入支出	600000	541280	541280		△ 58720	
	公社債投資信託支出	公社債投資信託支出	公社債投資信託支出	公社債投資信託支出		21,189,564	21,189,564			
	期首棚卸高	期首棚卸高	期首棚卸高	期首棚卸高		11,669,111		11,669,111		
支 出 合 計 (B)					67,141,690	96,951,149	80,344,017	16,607,132		
次 期 繰 越 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)						12,966,636	9,361,566	3,604,800		前期繰越剰余金 3,103,953
( うち 当期分 )						(562,589)	(202,109)	(360,480)		

注1. 費用の公益・収益の割合は75対25の比率による。注2. 予備費の△875,000円は、国際交流費875,000円に充当し、同基金に繰入れした額である。

正味財産増減計算書

昭和61年4月1日から昭和62年3月31日まで

社団法人 日本気象学会

I 増加の部

大科目	中 科 目	定 科 目	決 算 額 円	内		取 扱	備 考
				公益部門 円	取益部門 円		
資産増加額							
		基本財産、貸付信託増加額	1,600,000				
		国際学術交流基金、公社債信託増加額	2,000,000				
		退職給与引当金、金銭信託増加額	400,000				
		集誌特別号費用引当金、公社債増加額	4,500,000				
		總會費用引当金、公社債増加額	300,000				
		投資有価証券受贈額	5,000,000				
		什器備品増加額	541,280				
		公社債投資信託増加額	21,200,000				
		期末棚卸高増加額	867,260				
前期繰越増減差額							
増 加 額		前期繰越増減差額	2,499,029				
		前 期 繰 越 増 減 差 額	38,907,569				
		増 加 額 合 計 (D)					

II 減少の部

大科目	中 科 目	定 科 目	決 算 額 円	内		取 扱	備 考
				公益部門 円	取益部門 円		
負債増加額							
		退職給与引当金増加額	400,000				
		気象集誌特別号費用引当金増加額	4,500,000				
		總會費用引当金増加額	300,000				
		基本金組入額	3,600,000				
		投資有価証券額	5,000,000				
		什器備品減価償却額	165,531				
		公社債信託減少額	21,189,564				
		期首棚卸高減少額	519,398				
減少額		期 首 棚 卸 高 減 少 額	35,674,493				
		次期繰越増減差額 (F) = (D) - (E)	3,233,076				
		(うち当期分)	( 734,047 )				
		公共事業剰余金合計 (G) = (C) + (F)	4,169,232				
		(うち当期分)	( 936,156 )				
		剰余金合計額					
		収益事業分剰余金					
		(346,433)					
		うち当期分(360,480)					
		剰余金合計額					
		(763,366)					
		(うち当期分)					
		(1,296,636)					

# 損益計算書（収益部門）

（昭和61年4月1日から昭和62年3月31日まで）

社団法人 日本気象学会

## 1. 増加原因の部

大	勘定科目	金額	内		訳		備考
			公益部門	円	収益	部門	
事業	収入	7,940,185			7,940,185		
	気象研究ノート刊行収入						
	書店扱収入	2,092,380			2,092,380		
	その他の収入	1,148,129			1,148,129	10,147,377	
棚卸	高	1,158,129			1,158,129	1,158,129	
	期未棚卸高						
受取	利息	639,591			639,591	639,591	
	受取利息						
雑	収入	2,130,000			2,130,000		
	広告料収入						
	別	2,650,000			2,650,000		
	副収入						
	その他の雑収入	242,515			242,515	50,225,515	
	合計	16,967,612				16,967,612	

## 2. 減少原因の部

事業	費用	8,499,632			8,499,632		
	印刷製本費						
	編集費	860,400			860,400		
	通信運搬費	1,686,449			1,686,449		
	その他の雑費	770,430			770,430	11,816,911	
棚卸	高	1,166,911			1,166,911	1,166,911	
	期首棚卸高						
管	理	1,394,990			1,394,990		
	入件費						
	共益費	0			0		
	旅費交通費	54,098			54,098		
	賃借料	87,515			87,515		

勘定科目	科目目		金額	内		訳		備考
	大科目	中科目目		金額	公益部門	収益部門	部門	
	通信	搬費	333,805		333,805			
	什器	備品費	8,730		8,730			
	会	議費	229,900		229,900			
	公租	公課	378,620		378,620			
	光熱	水料費	79,340		79,340			
	消耗	品費	115,200		115,200			
	雜	費	941,112		941,112	3,623,310		
	什器備品	減価却費	0		0	0		
	公益	事業繰出金	0		0	0		
	合計		1,660,713			1,660,713		
税引前	当期	剰余金	360,480			360,480		
当期	剰余	金	360,480			360,480		
前期	繰越	高	3,103,953			3,103,953		
当期未	処分	剰余金	3,464,433			3,464,433		

貸借対照表

昭和62年3月31日

社団法人日本気象学会

1. 資産の部

大科目	勘定科目		金額		内			取	益	部	門	円
	中	目	金	円	公	益	部					
流動資産	現	金	170,009			170,009						
	普	通預金	1,126,627			766,147		360,480				
	郵	便替貯金	52,626			52,626						
	公	社債信託取崩金	21,200,000			21,200,000						
	未	収	1,945,824					1,945,824				
流動資産	棚	卸資産	2,025,389			867,260		1,158,129				
	資	産合計(A)		2,652,0475			2,305,6042				3,464,433	
有形固定資産	什	器備品	2,365,816			2,365,816						
	固	定資産(B)		2,365,816			2,365,816				0	
その他の資産	基	本財産、貸付信託	20,750,000			20,750,000						
	退	職給与引当金、金銭信託	1,000,000			1,000,000						
	総	会費用引当金、公社債	400,000			400,000						
	気	象集誌特別費用引当金、公社債	4,500,000			4,500,000						
	基	本財産、投資有価証券	5,000,000			5,000,000						
そ	の	他の固定資産合計(C)		31,650,000			31,650,000				0	
固	定	資産合計(D) = (B) + (C)		34,015,816			34,015,816				0	
資	産	合計(E) = (A) + (D)		60,536,291			57,071,858				3,464,433	



## 昭和61年度計算書類に対する注記

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却について

什器備品 …… 定率法による減価償却を実施している。

## (2) 引当金の計上基準について

退職給与引当金 …… 期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

総会費用引当準備金 …… 隔年度の総会費用要経費に相当する金額を計上している。

## (3) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、前払金及び前受金を含めることにしている。なお、当期末残高は3に記載するとおりである。

## 2. 基本財産の増減及びその残高は、次のとおりである。

科 目	当期増加額 円	当期減少額 円	当期末残高 円
基 本 金	600,000	0	10,250,000
藤原賞基金	500,000	0	2,000,000
山本賞基金	500,000	0	3,500,000
国際学術交流基金	2,000,000	0	5,000,000
堀内賞奨励金	5,000,000	0	5,000,000
合 計 (基金)	8,600,000	0	25,750,000

## 3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	当期末残高円	内 訳	
		公益部門 円	収益部門 円
現 金	170,009	170,009	0
普通預金	1,126,627	766,147	360,480
郵便振替貯金	52,626	52,626	0
公社債信託	2,120,000	2,120,000	0
合 計	2,254,926	2,218,782	360,480
前受会費	2,125,262	2,125,262	0
合 計	2,125,262	2,125,262	0
当期繰越収支差額	1,296,636	936,156	360,480

## 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額 円	減価償却累計額 円	当期末残高 円
什 器 備 品	3,061,916	696,100	2,365,816
合 計	3,061,916	696,100	2,365,816

## 昭和61年度 財産目録

(昭和62.3.31現在)

社団法人 日本気象学会  
理事長 山元 竜三郎

資産総額 58,590,467円  
 1. 基本財産 (基本金、基金) 25,750,000円  
     不動産 0円  
     動産 25,750,000円

種類	預入先	金額(円)	備考
貸付信託	住友信託銀行(日比谷支店)	10,250,000	基本金
"	"	3,500,000	山本賞基金
"	"	1,000,000	藤原賞基金
"	三井信託銀行(本店)	1,000,000	"
公社債信託	野村証券KK(銀座支店)	5,000,000	国際学術交流基金
投資有価証券	山一証券KK(本店)	5,000,000	堀内基金奨励賞(仮称)
合	計	25,750,000	

2. 積立金 5,900,000円

種類	預入先	金額(円)	備考
金銭信託	住友信託銀行(日比谷支店)	1,000,000	退職給与引当預金
公社債信託	野村証券KK(銀座支店)	400,000	総会費用引当預金
"	"(東京支店)	4,500,000	気象集誌特別号刊行費用引当預金
合	計	5,900,000	

3. 運用財産 22,549,262円

種類	預入先	金額(円)	備考
普通預金	第一勧業銀行(大手町支店)	1,120,975	
"	東京銀行(丸の内支店)	5,652	
郵便振替貯金	東京中央郵便局	52,626	
"	大手町郵便局	0	国際学術交流基金口
公社債信託	野村証券KK(東京支店)	10,700,000	
"	日興証券KK(新丸ビル支店)	10,500,000	
現金	手許保管	170,009	
合	計	22,549,262	

4. 什器備品 2,365,816円

5. 期末在庫高 2,025,389円

## 社団法人日本気象学会 監査報告書

社団法人日本気象学会の財産及び業務執行の状況を、次のとおり監査したので報告する。

1. 監査月日 昭和62年4月20日
2. 監査場所 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内  
社団法人日本気象学会事務局
3. 監査帳簿
  - (1) 昭和61年度収支計算書、貸借対照表他計算書
  - (2) 財産目録
  - (3) 総勘定元帳
  - (4) 現金出納帳
  - (5) 預金出納帳
  - (6) 備品台帳
  - (7) 物品出納帳(物品在庫調書を含む。)
  - (8) 領収証綴
  - (9) 預金証書及び普通預金通帳
  - (10) 郵便振替受払通知票綴
  - (11) 国庫金送金通知書綴
  - (12) 現金書留受領簿
  - (13) 小切手帳及び振出帳簿
  - (14) 昭和61年度事業報告書
4. 監査内容
  - (1) 昭和61年度収支計算書、貸借対照表他計算書について、その経理状況を監査するとともに、財政状況を調べた。
  - (2) 上記の帳簿類について、照合を行うとともに、出納状況及び記載事項の監査を実施した。
  - (3) 学会の運営状況について、聴取し、意見を述べた。

## 5. 監査意見

監査の結果、昭和61年4月1日から昭和62年3月31日までの会計年度の収支決算書は正しいと認める。会計帳簿を照合したところ、その記帳は正確であり、整理もよくなされている。会費収入状況は良好であり、財政は安定している。

事務室に保管してある刊行物の在庫の調査と整理に努め、また、経費の節約につとめるなど学会の運営に対する役員並びに事務局員の労を多とする。

事業はほぼ計画どおり遂行されている。前回指摘された気象研究ノートの発行も順調である。国際学术交流事業は貴重な成果をあげており、今後もひきつづき実行していく必要がある。新たな機器の導入等による事務体制の強化は行われてきているが、今後もこの方向を進め整備状況に応じた効率的運用を行ない、事務能率の向上に努めるべきである。

会員数は増加はしているが、各種の会合・講演会などの企画や機関誌を通しての会員相互の交流などにより活動を活発化し、気象学会を発展させるよう会員各位の一層の努力が必要である。

昭和62年4月20日

監事 相原正彦 ㊟

監事 浜田忠昭 ㊟

## 昭和62年度収支予算書(案)

社団法人 日本気象学会

## I 収入の部

(昭和62年4月1日から昭和63年3月31日まで)

勘定科目			予算額 (千円)	前年度 予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
大科目	中科目	小科目				
1. 基本財産 運用収入			1,040	1,000	40	
	基本財産利息収入	基本財産利息収入	865	899	△ 34	
	基本財産配当金収入	基本財産配当金収入	175	101	74	
2. 会費入金 金収入			35,392	35,297	95	
	通常会員会費収入	通常会員会費収入	6,083	5,900	183	2/1現4187人 63/1~3月の分
	団体会員会費収入	団体会員会費収入	4,869	4,946	△ 77	2/1現 500カ所 62年度分
	外国人会員会費収入	外国個人会員会費収入	194	189	5	2/1現 84人 63/1~3月の分
		外国団体会員会費収入	156	173	△ 17	2/1現 53カ所 63/1~3月の分
	賛助会員会費収入	賛助会員会費収入	2,800	2,830	△ 30	45 団体の分
	前受金	前期前受会費収入	21,253	21,259	△ 6	62/4~12月の分
	入金金収入	入金金収入	37	0	37	
3. 事業収入			20,731	15,051	5,680	
	気象研究ノート 刊行収入	気象研究ノート 刊行収入	6,184	7,300	△1,116	
	気象研究ノート 未収金収入	気象研究ノート 未収金収入	1,946	0	1,946	
	予稿集刊行収入	予稿集刊行収入	3,920	3,920	0	
	夏季大学講座事業収入	夏季大学講座事業収入	825	877	△ 52	
	書店扱収入	書店扱収入	2,655	2,570	85	
	ペーパーズ発行収入	ペーパーズ発行収入	212	384	△ 172	
	気象集誌 特別号刊行収入	気象集誌 特別号刊行収入	4,584	0	4,584	
	学術用語集発行収入	気象学編発行収入	405	0	405	
4. 補助金 収入			3,710	3,710	0	
	文部省補助金収入	科学研究費収入	3,710	3,710	0	
5. 寄付金 収入			100	0	100	
	寄付金収入	寄付金収入	0	0	0	
	募金収入	募金収入	100	0	100	
6. 雑収入			12,704	12,429	275	

勘 定 科 目			予 算 額 (千円)	前 年 度 予 算 額 (千円)	増 減 (千円)	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
	受 取 利 息	受 取 利 息	700	700	0	
	別 刷 収 入	別 刷 収 入	3,271	3,136	135	
	投 稿 料 収 入	投 稿 料 収 入	5,512	5,181	331	
	広 告 料 収 入	広 告 料 収 入	2,912	2,912	0	
	そ の 他 雑 収 入	そ の 他 雑 収 入	309	500	△ 191	
7 特定預金 取崩収入			4,500	1,000	3,500	
	総会費用引当預金 取崩収入	総会費用引当預金 取崩収入	0	1,000	△1,000	
	気象集誌特別号引当 預金取崩収入	気象集誌特別号引当 預金取崩収入	4,500	0	4,500	
当 期 収 入 合 計 ( A )			78,177	68,487	9,690	
当期繰越金			19,062	18,785	277	
	前 受 金	前受会費繰越金	19,062	18,785	277	63/4~12月の分
前期繰越金			1,297	1,351	△ 54	
	前期繰越収支差額	前期繰越収支差額	1,297	1,351	△ 54	
収 入 合 計 ( B )			98,536	88,623	9,913	

## II 支出の部

勘定科目			予算額 (千円)	前年度 予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
大科目	中科目	小科目				
1.事業費			57,872	47,886	9,986	
	図書購入費	図書購入費	392	392	0	賛助会員への図書配布を含む。
	臨時雇賃金	臨時雇賃金	288	288	0	
	会議費	会議費	1,250	2,050	△ 800	
	旅費交通費	旅費交通費	378	189	189	
	天気刊行費		20,189	19,723	466	48頁増年912頁
		印刷製本費	14,900	14,680	220	
		編集費	2,026	2,026	0	
		通信運搬費	3,263	3,017	246	
	気象集誌刊行費		16,320	14,249	2,071	84頁年1,184頁
		印刷製本費	13,422	11,990	1,432	
		編集費	1,814	1,302	512	
		通信運搬費	1,084	957	127	
	気象集誌 特別号刊行費		8,165	500	7,665	数値予報プロセス 900部発行
		印刷製本費	7,112	0	7,112	
		編集費	500	500	0	
		通信運搬費	553	0	553	
	気象研究 ノート刊行費		6,840	6,819	21	4号の刊行、480頁分
		印刷製本費	5,487	5,487	0	
		編集費	715	716	△ 1	
		通信運搬費	638	616	22	
	予稿集刊行費		2,063	2,049	14	
		印刷製本費	1,760	1,760	0	
		通信運搬費	303	289	14	
	夏季大学講座 事業費		637	637	0	
		印刷製本費	500	500	0	
		編集費	137	137	0	
	負担金支出	負担金支出	440	80	360	第3回水資源シンポジウム 共催分担金を含む。
	学会賞金支出	学会賞金支出	200	200	0	
	藤原賞金支出	藤原賞金支出	100	100	0	
	山本賞金支出	山本賞金支出	100	100	0	
	奨励金支出	奨励金支出	210	210	0	
	雑費	雑費	300	300	0	

勘 定 科 目			予 算 額 (千円)	前 年 度 予 算 額 (千円)	増 減 (千円)	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
2.管理費			14,782	15,856	△1,074	
	給 料 手 当	給 料 手 当	5,906	5,873	33	
	退 職 金	退 職 金	0	0	0	
	福 利 厚 生 費	福 利 厚 生 費	400	400	0	
	会 議 費	会 議 費	705	1,150	△ 445	
	旅 費 交 通 費	旅 費 交 通 費	330	380	△ 50	
	通 信 運 搬 費	通 信 運 搬 費	1,600	1,650	△ 50	
	什 器 備 品 費	什 器 備 品 費	233	233	0	
	消 耗 品 費	消 耗 品 費	300	300	0	
	印 刷 製 本 費	印 刷 製 本 費	250	570	△ 320	
	光 熱 水 料	光 熱 水 料	230	230	0	
	賃 借 料	賃 借 料	400	400	0	
	公 租 公 課	公 租 公 課	400	400	0	
	支 部 交 付 金 支 出	支 部 交 付 金 支 出	2,563	2,520	43	関西北海道支部の夏季大補助の分を含む。
	諸 謝 金	諸 謝 金	210	100	110	
	電 子 計 算 機 運 営 費	電 子 計 算 機 運 営 費	355	750	△ 395	
	雑 費	雑 費	900	900	0	
3.国際学術 交流事業費			1,800	1,600	200	
	国際学術交流費	国際学術交流費	1,800	1,600	200	
4.特定預 金支出			800	300	500	
	退 職 給 与 引 当 預 金 支 出	退 職 給 与 引 当 預 金 支 出	300	300	0	
	総 会 費 用 引 当 預 金 支 出	総 会 費 用 引 当 預 金 支 出	500	0	500	
5.予備費			1,500	1,500	0	
	予 備 費	予 備 費	1,500	1,500	0	
当 期 支 出 合 計 (C)			76,754	67,142	9,612	
当 期 収 支 差 額 (A) - (C)			1,423	1,345	78	
次 期 繰 越 前 受 会 費 (D)			20,387	20,285	102	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B)-(C+D)			1,395	1,196	199	